

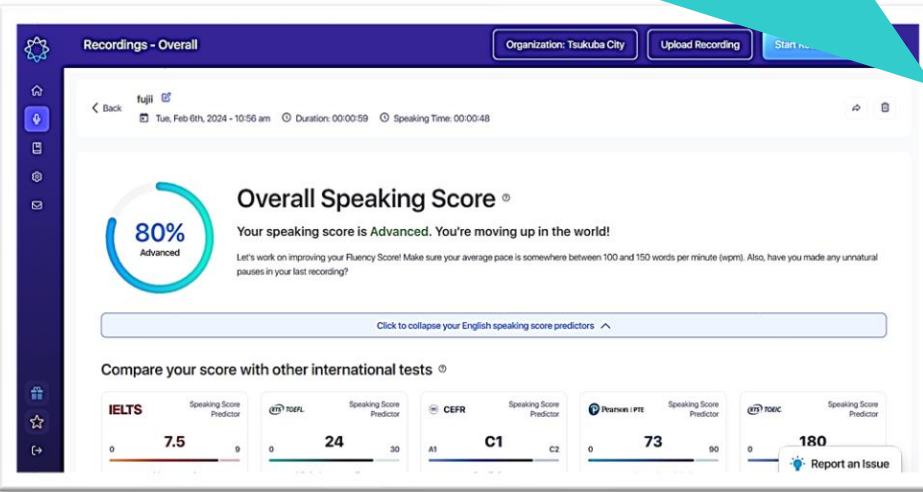
<教育利用> ① 英語科におけるELSA Analyzerの活用

ELSA Analyzerで音読練習

生徒の音読は、1語1語ぶつ切りになってしまったり、発音もカタカナ英語になりがちである。ELSA Analyzerを活用することで、発音、流暢さ、抑揚、文法、内容の5つがAIによってフィードバックされるため、音読練習では発音、流暢さ、抑揚のフィードバックに着眼して取り組ませた。フィードバックで以下のように具体的なアドバイスが得られるため、生徒の意識も高まり、英語らしい発音ができる生徒が増えた。



発音61%、イントネーション76%、流暢さ86%、
文法78%、ボキャブラリー95%



発音できなかった音に関して、一つ一つ動画でトレーニング方法を提示。生徒はこのフィードバックをもとに、何度も音読練習に取り組んだ。

ELSAを活用し、フィードバックがあることで、生徒の音読学習への意欲が高まった。また、何をどうしたらより英語らしくなるのかが、可視化されるため、次にやるべきことが明確になることも意欲を高める一つであった。ALTから発音を褒められる生徒も増え、それが一層の学習意欲となっている。

<教育利用> ① 英語科におけるELSA Analyzerの活用

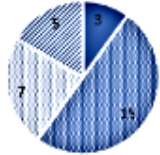
ELSA AnalyzerでSmall Talk

Small Talkでは、全員分の見取りが難しく、その場でのフィードバックが全ペアにできないことに危惧していたが、ELSA Analyzerを導入したことで、文法的な内容までフィードバックができ、生徒自身が改善点を明確に把握できるようになった。ペアを変えて2回目を行う際は、1回目よりも正しい英語で話せる生徒が増えた。また、下記のアンケートのように音声録音機能を加えたことで、英語だけでなく何か伝えようとする生徒が増えた。



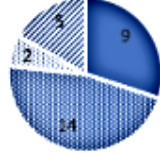
(2) 生徒の実態 (31人から考える指導観) (アンケート1月26日実施)

英語の授業の warm-up での Small Talk では、どのように取り組んでいますか。



- 英語だけで話せるように努力している
- 分からない単語だけ日本語を使う
- 日本語を使ってしまおうことが多い
- 英語で発信することをためてしまうことが多い

ELSA Analyzer を使うようになってからは、どのように取り組んでいますか。



Word の Dictation では読み込めない単語はどれくらいありますか。(120語中)
 ほとんどない 3名 3~5語 14名 6~8語 8名 それ以上 5名



文法的ミスは赤字で表示され、生徒は対話した相手となぜ指摘されたのか説明し合い、次のステップに進む。

ELSAでは、生成AIとフリートークができる。これまではペアの英語レベルによって、対話がうまく繋がらないことがあったが、このアプリは自分のレベルで生成AIと対話ができることが大変魅力的である。そこで、生成AIとのフリートークを家庭学習の課題とし、授業ではあえて友達とのやりとりを重視した構成をとった。友達とのやりとりも文法的なフィードバックについて一緒に考えることで、英語力を高めることに繋がっている。個別最適な学びと協働的な学びの往還を図れる生成AIである。